

「守ろう・育てよう・美しい海」 県下一斉浜そうじの開催

長崎県海と渚環境美化推進委員会

七月十四日 長崎市宮摺海岸にて県下一斉浜そうじ開始式を開催

長崎県海と渚環境美化推進委員会では、長崎県の貴重な財産である青く豊かな海と美しい渚を守るため、漁協と共催し、長崎県下各浜の海岸で、毎年七月十五日～八月十三日を浜そうじ推進期間として「県下一斉浜そうじ」を実施しています。

昨年度は全体で八千二百二十名を超える参加がありました。

今年は、七月十四日に長崎市宮摺海岸にて県下一斉浜そうじの開始式を開催し、地元住民をはじめ、長崎市茂木漁協の組合員、長崎県漁港漁場協会会員、県庁職員、各系統団体職員等、約三百名が参加しました。

開始式では主催者を代表して本委員会高平会長（長崎県漁連会長）、長崎県水産部坂本部長が挨拶し、受入地区を代表し長崎市田上市長、長崎市茂木漁協小林組合長より挨拶が行われました。



高平会長は、「長崎県の貴重な財産である青く豊かな海、美しい渚を守り、県民の皆様が楽しめる、豊かな海を次世代に残していくために、県民・漁業関係者の方々と連携、協力し活動の輪を広げていきたい」と挨拶しました。



当日は晴天に恵まれ、参加者は大汗をかきながら清掃活動に取り組んでいました。宮摺海岸には、台風七号や西日本豪雨の影響で多くの流木や漂着ゴミが打ち上げられていましたが、大人数で行ったこともあり約一時間の清掃で、海岸は見違える程綺麗になりました。本委員会では、県民に海と渚の大切さを伝えていくため、毎年県下の海岸で清掃活動を開催していますので、是非皆様のご参加をお待ちしています。なお開催にあたり、特段のご協力をいただいた長崎市役所および長崎市茂木漁協の皆様には紙面を借りてお礼申し上げます。